



謹んで奉り、新編
は後録の「名」は
社家と云ふ事
あり之ハ生か仲弓
の論環の執り此
の筆末を以て
成仕神一の事
生か其は独り
と記するに他
事細末の本
には命の
分言ハ
の事



生一未片は猿一子片と云
今般するは他出共故
番細書と未書片と云
と付は仰り取一の書此
分言ハ書取、毎事ハ
曰主と子一とと物と
子取取上取は指片
とと占仰ハ讓おる個
性取取

北二二平七り千地取

加 蓋 正 三 命

大隈伯爵殿